

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学概論		池田 恵子		1 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (30)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある講師による講義。				
学修内容	成人とは、ライフサイクル、発達課題、成人と生活、成人と健康、成人へのアプローチ、保健・医療・福祉システムの連携、多職種連携、健康レベルに対応した看護アプローチ、家族支援				
到達目標	成人各期の特徴、成人の生活や健康に関する基礎的知識を理解する。 成人の多様な健康レベルに対応したアプローチ方法を理解する				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1・2	大人とは？各発達段階の特徴と発達課題（青年・壮年・中年・向老期）
3	成人を取り巻く環境 人口動態・人口情態
4	成人を取り巻く環境と生活から見た健康 職業性疾患・作業関連疾患・ストレスと健康
5	成人を取り巻く環境 生活習慣に関連した疾患とヘルスプロモーション
6・7	成人への看護アプローチの基本 大人の健康行動の捉え方、行動変容を促進する看護アプローチ
8・9	成人期各健康段階における看護 1) 健康の急激な破綻（急性期の特徴・課題学習・GW） 2) 急性期の事例検討（GW）
10・11	1) リハビリテーション期にある患者（回復期の特徴・課題学習・GW） 2) 回復期の事例検討（GW）
12・13	1) 慢性病とともに生きる人を支える（慢性期の特徴・課題学習・GW） 2) 回復期の事例検討（GW）
14	人生の最後のときを支える看護・事例検討（GW）
15	まとめ 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野 成人看護学総論 医学書院 国民衛生の動向 厚生労働省統計協会
成績評価の方法	筆記試験
備考	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学Ⅰ 呼吸器疾患患者の看護		長井 安代		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1(10)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	呼吸器疾患患者の看護について学ぶ。				
到達目標	①呼吸器疾患患者に特徴的な症状に対する看護を理解できる。 ②呼吸器疾患患者の検査・治療処置における看護を理解する。 ③呼吸器機能障害のある患者のアセスメントを理解することができる。				
事前学習	呼吸器の解剖生理を復習しておく。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	肺がん患者の看護 血痰・喀血 気管支鏡検査、生検
2	慢性閉塞性肺疾患患者の看護 咳嗽、喀痰、呼吸困難、動脈血ガス分析、呼吸機能検査、 酸素療法、Co2ナルコーシス
3	肺炎患者の看護、睡眠時無呼吸症候群患者の看護 気管切開、人工呼吸器装着患者の看護
4	肺結核患者の看護 気管支喘息
5	自然気胸患者の看護 胸痛 胸腔穿刺 胸腔ドレナージ 肺血栓塞栓症患者の看護 急性呼吸窮迫症候群患者の看護
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野 成人看護学 呼吸器 医学書院 看護技術プラクティス 学研
成績評価の方法	呼吸器疾患患者の看護と循環器疾患患者の看護を併せて筆記試験 筆記試験70%、成人看護過程30%
備考	呼吸器疾患患者の看護と循環器疾患患者の看護と成人看護過程を併せて 1 単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学Ⅰ 循環器疾患患者の看護		大里 勝行		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1(10)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	循環器疾患患者の看護について学ぶ				
到達目標	①循環機能について理解できる ②循環機能障害によって起こる症状がわかる ③循環機能障害のある患者のアセスメントがわかる ④循環機能障害のある患者の急性期・回復期・慢性期の看護がわかる ⑤主な検査・治療時の看護がわかる				
事前学習	心臓・血管の解剖生理、バイタルサインについて理解しておく				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	1. 血圧異常患者の看護：高血圧患者の看護と生活指導、薬物療法 2. 虚血性心疾患患者の看護 狭心症・心筋梗塞患者の急性期・回復期・慢性期の看護 心臓カテーテル検査・PCI治療を受ける患者の看護 心臓リハビリテーション
2	3. 心不全患者の看護 急性心不全・慢性心不全・左心不全・右心不全 急性期の看護、慢性期の看護とセルフケアの自立への援助
3	4. 不整脈患者の看護 危険な不整脈、ペースメーカー適応の不整脈 ペースメーカー植え込み術を受ける患者の看護
4	5. 動脈疾患・静脈疾患 6. 手術療法
5	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔3〕 循環器 医学書院
成績評価の方法	呼吸器疾患患者の看護と併せて筆記試験 筆記試験70%、成人看護過程30%
備考	呼吸器疾患患者の看護と成人看護過程を併せて1単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学 I 看護過程		池田 恵子		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1 (10)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	成人期にある対象の成長発達段階・健康障害の時期にあわせた看護過程の展開を学ぶ				
到達目標	成人の患者の回復期および慢性期の看護目標・看護計画が立てられる。				
事前学習	循環器疾患				

授業計画

No.	授 業 内 容	
【成人期にある循環器疾患を持つ患者の事例を使って看護過程の展開を行う】		
1	1. うっ血性心不全患者の情報の整理と全体像の理解 ①病態、治療、検査、看護についての事前学習 ②ヘンダーソンの看護過程にもとづいた情報の整理と成人期にある対象の発達段階と病態をふまえた全体像について講義 ③グループワークでの学習	PBL
2・3	2. 回復期のアセスメントと看護問題の優先順位の判断 ④グループワークでアセスメントのプレゼンテーション ⑤グループで看護問題の優先順位の検討 3. 回復期の看護計画立案 ⑥グループワーク後個人で看護計画を立案	PBL
4・5	4. うっ血性心不全患者の慢性期のアセスメントと看護計画 ⑦退院に向けた援助を事前学習しグループ内で検討、計画立案 ⑧退院指導の実施・振り返り	PBL 演習
履修上の要件		
テキスト、教材、 参考書	看護過程を使ったヘンダーソン看護論の実践 ノーヴェルヒロカワ 疾患別看護過程の展開 学研 系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔3〕 循環器 医学書院 今日の治療薬 南江堂	
成績評価の方法	事前学習・看護過程・レポートの提出の点数化評価	
備考	呼吸器疾患患者の看護と循環器疾患患者の看護を併せて1単位 看護過程は30%	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学Ⅱ 消化器疾患患者の看護		有田 敏子		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1(16)	教室	前期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	消化器疾患患者の看護を学ぶ				
到達目標	① 消化器疾患の症状と看護が理解できる ② 消化器疾患の看護について理解できる。 ③ 消化器系の検査および治療における看護について理解できる ④ ストーマケアについて理解できる。				
事前学習	消化器の解剖生理を理解しておく 生化学、薬理学で検査データの意味や薬物の作用、副作用を復習しておく。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	消化器疾患患者の特徴 1. 症状に対する看護
2・3・4	2. 疾患を持つ患者の看護 食道、胃・十二指腸、小腸、大腸の疾患と看護 肝臓・胆嚢・膵臓の疾患と看護
5	3. 検査を受ける患者の看護 胃カメラ、大腸鏡、ERCP、肝生検、PTCD 4. 治療、処置を受ける患者の看護 薬物療法、化学療法、食事療法
6	5. 人工肛門造設術を受ける患者の看護
7	6. ストーマケアの実際(演習)
8	まとめ 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野 成人看護学〔5〕 消化器 医学書院
成績評価の方法	内分泌・代謝疾患患者の看護を併せて筆記試験
備考	内分泌・代謝疾患患者の看護を併せて1単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学Ⅱ 内分泌・代謝疾患患者の看護		林 なおみ		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1(14)	教室	前期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	内分泌と代謝疾患患者の看護を通して生涯コントロールが必要な患者を支援する方法について学ぶ。				
到達目標	内分泌と代謝疾患患者の看護と生涯コントロールが必要への援助方法が理解できる。				
事前学習	インスリン自己注射、自己血糖測定の援助、エンパワーメントエデュケーション、セルフマネジメント教育				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	内分泌疾患の検査を受ける患者の看護 (ホルモン血中濃度測定、ホルモン負荷試験) 副腎疾患患者の看護(アルドステロン症、クッシング症候群)
2	甲状腺疾患患者の看護 (バセドウ病、甲状腺機能低下症、甲状腺切除術を受ける患者)
3	代謝疾患患者の看護と食事療法を受ける患者の看護 (脂質異常症、肥満、尿酸代謝異常)
4	糖尿病患者の看護 食事療法・薬物療法・運動療法に対する援助：グループワーク
5	糖尿病患者の看護 運動療法・薬物療法・運動療法に対する援助：グループワークの発表
6	インスリン自己注射・自己血糖測定(演習) グループワーク
7	糖尿病患者が自己管理できる支援を考える
履修上の要件	
テキスト、教材、参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 内分泌・代謝 医学書院
成績評価の方法	消化器疾患患者の看護を併せて筆記試験
備考	消化器疾患患者の看護を併せて1単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学Ⅲ クリティカルケア		徳田 初美		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1(20)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	クリティカルケア、救急看護、周手術期看護、創傷管理の技術				
到達目標	生命の危機状態における患者の状態が理解できる。 クリティカルケア看護に必要な看護技術が理解できる。				
事前学習	解剖生理学、フィジカルアセスメント				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	1. クリティカルケア看護とは・看護の場とチーム医療 クリティカルケアを必要とする患者の特徴 救急医療と看護・家族の特徴、危機介入
2	2. クリティカルな患者の病態理解と看護・生体侵襲と防御反応 呼吸機能障害、循環機能障害、脳・神経障害、DIC、ショック
3	3. クリティカルケア看護に必要な看護技術 救急看護、人工呼吸器管理、ショック、他
4	4. 周手術期看護（術前） 術前の看護、周手術期にある患者の事例展開
5	5. 手術室看護 手術体位と合併症
6	6. 周手術期看護（術後） 術後合併症・早期離床、
7	7. 周手術期看護（術後） 創傷の治癒過程、ドレナージ管理、創洗浄
8	8. 周手術期にある患者の術後の事例展開 術後のアセスメント・身体侵襲・生体反応
9	9. 術後のクリニカルパスを参考に術後の看護計画を立案
10	まとめ 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 別巻 クリティカルケア看護学 医学書院 系統看護学講座 別巻 臨床外科総論
成績評価の方法	終末期ケアを併せて筆記試験
備考	終末期ケアを併せて1単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学Ⅲ 終末期ケア		宮田 智恵子		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1 (10)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある講師による講義。				
学修内容	緩和ケアの定義を学び緩和ケアを必要とする患者・家族への看護を学ぶ。 患者・家族の悲嘆を理解し、人生最後のときを支える看護師の役割や機能、 看護師としての態度について考える。				
到達目標	緩和ケアを必要とする患者の看護、患者・家族の悲嘆を理解することができる。 人生の最後のときを支える看護師の役割と機能、看護師としての態度について考える。 死生観をもつことができる。				
事前学習	トータルペイン、エンドオブライフケア・アドバンスケア・プランニング				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	緩和ケアの歴史・定義、緩和ケアにおけるチームアプローチ、 緩和ケアにおける倫理的課題（意思決定支援・アドバンスケア・プランニング）、死の受容過程
2	全人的苦痛と苦痛へのアプローチ、疼痛マネジメント 癌性疼痛の理解、薬物療法、評価方法、看護、日常生活援助方法
3	食べることに伴う支援、全身倦怠感のケア、不眠の援助 存在を支える看護、スピリチュアルケア
4	家族のケア
5	人生の最後のときを支える看護師の役割と機能 1) 看護師の存在自体が患者に緩和的にはたらく 2) 意思決定支援と看護師の役割、
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 別巻 緩和ケア 医学書院
成績評価の方法	クリティカルケアを併せて筆記試験
備考	クリティカルケアを併せて1単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学Ⅳ 運動器疾患患者の看護		山城 歩		2年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1 (10)	教室	前期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	運動器疾患患者の看護について学ぶ。				
到達目標	運動器疾患患者の看護の特徴について理解できる。 神経麻痺・循環麻痺の観察と予防ができる。 筋力低下の予防と評価ができる。				
事前学習	解剖生理学（筋肉・運動器）の復習をしておく。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	運動器疾患患者の看護（合併症：神経障害、循環障害、筋力低下） 事例を通して：大腿骨頸部骨折で牽引をしている患者
2	検査・ギブス固定を受ける患者の看護 治療後の姿勢の制限について（人工股関節、人工膝関節など）
3	脊髄損傷・切断患者の看護
4	包帯法演習（伸縮包帯 弾性包帯 三角筋）
5	まとめ 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 運動器 医学書院
成績評価の方法	腎・泌尿器疾患患者の看護と脳神経疾患患者の看護を併せて筆記試験
備考	腎・泌尿器疾患患者の看護と脳神経疾患患者の看護を併せて1単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学Ⅳ 脳神経疾患患者の看護		中島 久代		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義	1(10)	教室	前期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	脳神経疾患患者の看護について学ぶ。				
到達目標	脳神経疾患患者に特徴的な症状の看護について理解できる。 脳神経疾患患者の検査・治療処置における看護を理解できる。 脳神経機能障害のある患者のアセスメントが理解できる。				
事前学習	脳神経の解剖生理の復習をしておく。				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	疾患をもつ患者の経過と看護・症状障害をもつ患者の看護 意識レベルの観察(JCS・GCS) 瞳孔の観察
2	事例①くも膜下出血・脳出血患者の看護 症状に対する看護 頭部 CT MRI MRA 脳血管造影 開頭手術 クリッピング術 脳血管内治療 合併症予防看護 脳室ドレナージ V-P シヤント 高次脳機能障害 頭 蓋内圧亢進、脳ヘルニア クッシング現象
2	事例②脳梗塞患者の看護 運動麻痺 バレー徴候 MMT 感覚障害 半側空間無視 血栓溶解療法の看護 回復期の看護 再発予防(血圧 管理 生活習慣の見直し) 社会復帰に向けてのリハビリテーション
3	事例③脳腫瘍 下垂体腫瘍 頭部外傷 慢性頭蓋内圧亢進症状 腫瘍摘出術 放射線療法 化学療法 過剰内分泌症状 圧迫症状(視野障害 両耳側半盲) 術前・術後の看護
4	神経難病 筋ジストロフィー、重症筋無力症、多発性硬化症
5	終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 脳神経 医学書院
成績評価の方法	腎・泌尿器疾患患者の看護と運動器疾患患者の看護を併せて筆記試験
備考	腎・泌尿器疾患患者の看護と運動器疾患患者の看護を併せて1単位

受業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学Ⅳ 腎・泌尿器疾患患者の看護		清田 香		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1 (10)	教室	前期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある講師による講義。				
学修内容	腎泌尿器疾患患者の看護を学び、自己管理できる援助について学習する				
到達目標	腎泌尿器疾患患者の看護を理解することができる。				
事前学習					

授業計画

No.	授 業 内 容
1	検査を受ける患者の看護（尿検査、膀胱鏡検査、逆行性腎盂造影、腎生検）
2	症状に対する看護（浮腫・残尿・尿失禁）
3	慢性腎不全・慢性腎臓病患者の看護
4	糖尿病性腎症から透析導入となった患者の看護 セルフケア行動ができるための援助方法を考える
5	慢性腎臓病患者の関りについて 前立腺がん・膀胱がん（膀胱摘出術および尿路変更術を受ける）患者に対する看護
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 腎・泌尿器 医学書院
成績評価の方法	運動器疾患患者の看護と脳神経疾患患者の看護を併せて筆記試験
備考	運動器疾患患者の看護と脳神経疾患患者の看護を併せて1 単位

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学Ⅴ 女性生殖器・感覚器 疾患患者の看護		有田 敏子 寺師 敬子		2年次	
授業形態	単位(時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1 (14)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	女性生殖器疾患を事前学習し、化学療法や手術療法における看護について学ぶ 感覚器疾患を事前学習し、手術療法における看護やスキンケアについて学ぶ				
到達目標	女性生殖器疾患をもつ患者の特徴・看護が理解できる 感覚器疾患患者の看護が理解できる				
事前学習	1) 女性生殖器の解剖生理を復習する 2) 感覚器の解剖生理を復習する 下記疾患の病態、治療、看護について事前学習する(1疾患A ₄ 1枚)				

授業計画

No.	授 業 内 容	
1	<女性生殖器>女性生殖器疾患を持つ患者の心理・看護者の役割 治療・処置・検査を受ける患者の看護 (化学療法 放射線療法 ホルモン療法)	有田
2	治療を受ける患者の看護(子宮頸癌 子宮体癌 内膜症)	有田
3	治療を受ける患者の看護(卵巣癌 更年期障害 不妊治療)	有田
4	治療を受ける患者の看護(乳がん)	有田
5	<感覚器>眼疾患患者の看護(白内障 緑内障 網膜剥離)	
6	耳鼻咽喉疾患患者の看護(喉頭癌 副鼻腔炎 メニエール病)	
7	歯・口腔疾患患者の看護(口腔ケア 上顎癌 口蓋裂 下顎前突症) 皮膚科疾患患者の看護(スキンケア 尋常性乾癬 帯状疱疹 熱傷)	
履修上の要件		
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 女性生殖器 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 皮膚 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 眼 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 耳鼻咽喉 医学書院 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 成人看護学 歯・口腔 医学書院	
成績評価の方法	血液、アレルギー、膠原病、感染疾患患者の看護を併せて筆記試験	
備考	血液、アレルギー、膠原病、感染疾患患者の看護を併せて1単位	

授業科目名		担当講師名		対象学年	
成人看護学Ⅴ 血液・アレルギー 膠原病・感染症疾患患者の看護		池田 恵子		2 年次	
授業形態	単位 (時間)	教室等	学期	曜日	時限
講義・演習	1 (16)	教室	前期・後期		
実務経験	本科目は、看護師として実務経験のある教員による講義。				
学修内容	血液・膠原病・アレルギー・感染症の患者の看護についてグループワークする。				
到達目標	血液、膠原病、アレルギー、感染症の患者の特徴と看護援助を理解できる。				
事前学習	SLE、関節リウマチ、アナフィラキシーショック、HIV・急性骨髄性白血病の看護援助を調べる。造血幹細胞移植・輸血時の援助				

授業計画

No.	授 業 内 容
1	膠原病疾患患者の看護 (SLE の主な症状、薬物療法に対する看護)
2	膠原病疾患患者の看護 (関節リウマチの主な症状、薬物療法に対する看護) 社会資源を活用しながらセルフケア向上のための援助方法
3	アレルギー疾患患者の看護 (アナフィラキシーショックと主な症状に対する看護)
4	感染症疾患患者の看護 (HIV、AIDS、敗血症と主な症状に対する看護) H I V 感染症・エイズ患者の看護における看護師の役割
5	血液疾患患者の看護 主要症状を有する患者の看護 (貧血・出血傾向・易感染状態にある患者の看護)
6	急性骨髄性白血病患者の看護・化学療法に対する看護
7	造血幹細胞移植を受ける患者の看護 輸血療法時の看護
8	まとめ 終講試験
履修上の要件	
テキスト、教材、 参考書	系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [4] 血液・造血器 医学書院 系統看護学講座 専門分野 成人看護学 [11] アレルギー・膠原病・感染症 医学書院
成績評価の方法	女性生殖器・感覚器疾患患者の看護と併せて筆記試験
備考	女性生殖器・感覚器疾患患者の看護と併せて 1 単位とする。